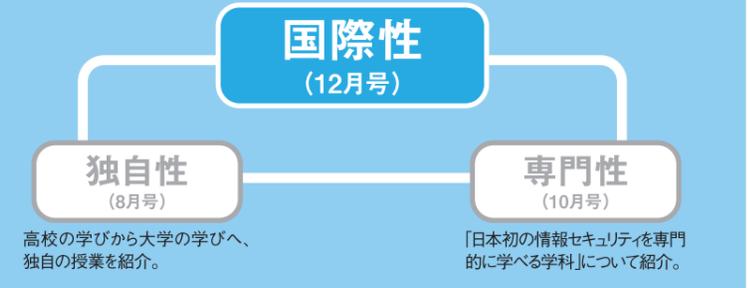


# 長崎県立大学が挑む、新・

学生が成長するカリキュラムが充実している長崎県立大学。  
常に先を見据えて前進している大学の学びの特色を「独自性」「専門性」「国際性」のテーマで、3回に

# 大学教育。

わたってご紹介しています。



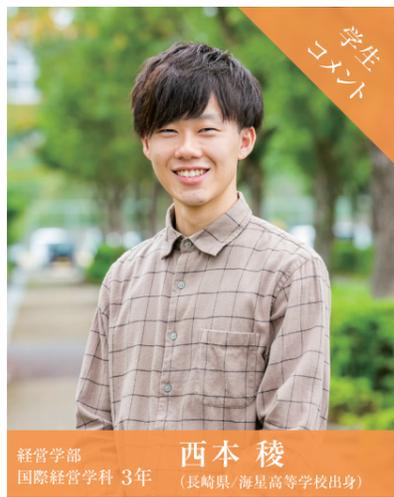
## 【第3回 国際性】 国際社会で活躍できるスキルを

**多くの人のサポートもあり、着実に成長しています。**

入学から約2年半が経ちました。1年次は夏季のフイリピン・セブ島での「海外語学研修」をはじめ、英語を集中して学びました。2年次は英語の授業に加え、経営学の学びについても実践的な内容が増え、英語と経営学の両方の知識を身につけました。

2年半の学生生活では、成績が伸びないことに悩んでいた時期もありました。そんな時に助けになったのは、先生方や同じクラスの仲間のおかげです。多くの人のサポートのおかげで、2年次終了時には、TOEIC®のスコアも卒業要件の730点をクリアするまでになりました。

3年次になってからは「海外ビジネス研修」で3週間、シンガポールの旅行会社で働きました。1年次のセブ島では自発的に動けなかったことの反省も踏まえ、現地の人と積極的にコミュニケーションをとりました。通訳する機会も多く、プレッシャーを感じたこともありましたが、英語の



## 磨ける〈経営学部 国際経営学科〉。

**英語力、専門知識、一般教養。すべてを身につけた国際人を育てたい。**

経営学部国際経営学科(定員60名)は、学部学科再編に伴い2016年に開設された学科です。真のグローバル人材の育成を掲げる本学科にとつて、まずは英語力を向上させることが学びの軸になると考え、1年生は「海外語学研修」など、英語を徹底的に学ぶカリキュラムを組んでいます。英語力がいかに身についたかについては、伸び率の指標となるTOEIC®を重視しています。

もちろん、本学科の学びは英語力の強化だけではなくありません。経営学の理論を体系的に学び、国際経営についてさらに知識を深めていく授業が用意されています。また、これまでに培ってきた教養をより深め、日本を代表する国際人としての知見も養います。そのような観点から、3年次には「海外ビジネス研修」を必修科目としています。

本学科は、今年度初めて卒業生を輩出します。学科開設時からTOEIC®のスコアが730点以上、そして「海外ビジネス研修」を体験することが卒業要件と、厳しい基準を設けていましたが、1期生は全員で本学科の良さを作り上げようというバイオニア精神があり、



努力を積み重ねてきました。それは就職先にもあらわれており、内定先のほとんどが海外に拠点があり、習得したスキルを生かせる企業が多いのが特徴です。学生、教員、職員が三位一体となつて走ってきた3年半だったのですが、卒業を目前にした学生の成長をみると、開設当時の目標をある程度達成できたと感じています。

カリキュラムの見直しをするなど、開設以来毎年ブラッシュアップを重ねてきましたが、グローバルビジネスの中で活躍する人材を輩出していくことが使命だということに変わりはありません。英語力を伸ばしたいという学生はもちろん、経営学、ビジネス、アカウンティングをじっくり学びたい学生の入学を期待しています。

英語力、経営の専門知識、そして一般教養。これらをバランスよく身につけてこそ、真の国際人になれると信じています。これまで同様、これからも、学生が主体となり世界に目を向けた視野を持ち、さらにそれが就職や生き方につながるように、今後も教職員でしっかり支えていきたいと考えています。

能力が上がったことが実感でき、とても実りある期間でした。

これから就職活動が待っています。今は興味があるアパレル業界に就職し、英語力を生かして海外駐在員として働くことを目標にしています。

**Topics 2 海外ビジネス研修**

東南アジア(シンガポール、ベトナム、タイ)にて3週間のインターンシップを行う科目で、英語力の向上、さらにビジネススキルの習得に繋げることが目的です。体験した学生は国際社会で活躍したい意欲が高まります。

**Topics 1 TOEIC®の平均点数**

3年生の入学時からの平均点数の伸びです。充実したカリキュラムで確実に英語力がアップしています。